

1. 令和7年度 営業概況について

令和7年度は、国際情勢の不安定な状況が継続する中においても、旅行需要の回復基調を背景に、立山トンネル電気バスの運行開始をはじめとする新たな話題の創出に加え、販売強化を進めた「WEBきっぷ」やSNSを活用した情報発信等により、シーズン全体として多くのお客様にご利用いただきました。

●アルペンルート入込人員実績

(単位：人)	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	実績	実績	実績	増減	前年比
入込合計	711,000	824,000	845,000	22,000	103%
富山入込	352,000	397,000	426,000	29,000	107%
大町入込	359,000	427,000	420,000	△7,000	98%
<国内・訪日内訳>					
国内入込人員	532,000	600,000	633,000	33,000	105%
個人	373,000	426,000	439,000	12,000	103%
団体	158,000	173,000	194,000	21,000	112%
訪日入込人員	179,000	224,000	213,000	△12,000	95%

※訪日入込人員は個人+団体の総数

※千人未満を四捨五入により端数処理しているため、合計と一致しない場合があります。

●ホテル宿泊人員実績（立山貫光ターミナル(株)）

(単位：人)	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	実績	実績	実績	増減	前年比
ホテル立山	25,200	26,900	28,000	1,100	104%

2. 決算の概要について

●連結決算の概要

国内客が好調に推移、3期連続の増収増益

- ① 営業収益 7,911百万円（前年比+520百万円）
- ・旅客数の増加により運輸事業が増収となりました。また、飲食・物販事業においても駅や車内広告などの宣伝活動を強化した結果、増収につながりました。
- ② 営業利益 2,358百万円（前年比+222百万円）
- ・人件費や修繕費は増加しましたが、運輸施設の耐用性調査を前年までに完了したことにより業務委託費が減少し、費用全体としては大きな増加とならず、増益を達成しました。
- ③ 経常利益 2,345百万円（前年比+205百万円）
- ・借入金利の上昇に伴う支払利息の増加により、営業利益段階と比較して、利益はわずかに減少しました。
- ④ 当期純利益 2,586百万円（前年比+458百万円）
- ・業績の回復と黒字継続の見通しにより、過去に取り崩していた繰延税金資産を積み増した結果、利益を押し上げました。

（単位：百万円）

会社名	連結			立山黒部貫光㈱			立山貫光ターミナル㈱			立山黒部サービス㈱					
	R06年度 (百万円)	R07年度 (百万円)	前期比 %	R06年度 (百万円)	R07年度 (百万円)	前期比 %	R06年度 (百万円)	R07年度 (百万円)	前期比 %	R06年度 (百万円)	R07年度 (百万円)	前期比 %			
営業収益	/			5,157	5,426	105%	/			/					
運輸事業															
ホテル事業 ホテル立山															
付帯事業	/			113	132	117%	870	927	107%	100	110	110%			
営業収益 計				7,391	7,911	107%	5,270	5,558	106%	2,253	2,475	110%	100	110	110%
営業費				5,255	5,552	106%	3,595	3,804	106%	1,835	1,918	105%	81	89	111%
営業利益	2,136	2,358	110%	1,674	1,754	105%	417	557	133%	19	21	109%			
経常利益	2,140	2,345	110%	1,677	1,739	104%	432	577	134%	20	21	104%			
当期純利益	2,128	2,586	122%	1,583	2,163	137%	520	391	75%	14	15	109%			
総資産	12,159	14,667	121%	10,432	12,307	118%	2,035	2,608	128%	347	330	95%			
純資産	4,420	7,207	163%	3,440	5,664	165%	995	1,526	153%	202	218	108%			

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨て処理しております。

3. 令和8年度以降の取り組みについて

●中期経営計画の策定について

令和8年度～令和12年度を、回復基調を次の成長につなげる期間と位置づけ、令和12年度に向けて目指す姿 = 「ビジョン」の実現に向けて基本方針「成長と投資」と4つの基本戦略を柱とする中期経営計画を策定しました。

ビジョン 「人と立山黒部の大自然をつなぎ、さらに豊かな未来へ」

- 壮大な立山黒部の感動を世界中のみなさまに届けます
- 国際山岳観光地を支える存在として地域とともに歩みます
- サステナブルな成長と従業員の誇り・幸せを大切にする企業を目指します

基本方針(テーマ)

成長と投資

基本戦略と主な取組

収益

～設備・営業・人財への投資を可能にする収益基盤を確立する～

- ・大都市圏・海外からの誘客強化および夏秋期(6月～11月)の需要喚起
- ・店舗(レストラン・売店)のリニューアル

設備

～持続可能な経営の実現のため、設備への投資を行う～

- ・主要施設の改修工事(室堂ターミナルビル、立山ケーブルカートンネル軌道)
- ・次世代乗り物の導入検討

営業

～世界標準のサービスを確立するため、営業への投資を行う～

- ・高付加価値サービスの導入(デジタルチケットやファストパスなど)
- ・多言語案内体制の強化・拡充(WEBサイトや接客現場など)

人財

～人材の確保、育成および教育を強化するため、人財への投資を行う～

- ・多様なチャンネルを活用した人材の採用と育成
- ・DX推進による業務効率化、人事制度見直しによる社員エンゲージメント向上

●令和8年度以降の数値目標について

令和12年度入込人員950千人の達成に向けて、令和8年度は900千人を目指します。

入込人員の増加により安定的な収益基盤を確立し、その収益をもとに運輸施設の大規模な維持更新を進めます。さらには、サービス品質の向上に向けた成長投資を行い、立山黒部ブランドの価値向上を図ります。

主要な経営指標と目標値

【成長】投資を可能にする収益基盤の確立

経営指標	令和8年度		令和12年度	
入込人員（集客力）	900千人	➔	950千人	大都市圏・海外からの誘致強化による利用客増加と、シーズン平準化の両立により目標達成を目指す
営業収益（収益力）	78億円		78億円	ホテル宿泊事業終了による減収を飲食・物販事業の収益力向上と利用客増加により補う

【投資】5ヶ年事業投資計画の内容（総額 120億円）

